

## 南丹市医療対策審議会答申に向けて

### 1. 南丹市医療対策審議会への諮問内容

#### 「美山地域の医療供給体制のあり方について」

### 2. 美山地域の医療体制の現状

美山地域の医療の現状は、美山林健センター診療所及び美山地域の医療の中核を担う美山診療所の2医療機関で、市民へ医療の提供がなされている。

林健センター診療所は、市直営の診療所で、京都中部総合医療センターからの派遣医師により、週3日開設している。また、美山診療所は、市の施設を活用し医療法人財団美山健康会が運営されており、外来診療や訪問診療及び入院病床4床を有する診療所である。併せて、介護老人保健施設を併設され老健病床15床を有し、リハビリ等のサービスも行われている。

美山診療所においては、院長の高齢化に伴い後任医師の確保が必要となったこと、また、経営面での課題など、現在の運営では医師の確保等安定した医療を継続して提供することは極めて困難になっている。

### 3. 美山地域の医療供給体制のあり方

このような現状を踏まえ、南丹市は、美山地域の医療を維持・継続していかなければならないとし「美山地域の医療供給体制のあり方」について医療対策審議会に諮問されたところである。

第1回審議会では、美山地域の現状や医療機関の収支状況等の報告があり意見を伺った。第2回審議会では、他医療機関の状況や介護関連施設のサービス提供内容等の報告がされた後、京都府南丹保健所からは、「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）」の概要についても説明を受けた。また、南丹市としての今後の美山地域における医療体制についての考え方が以下のとおり示された。

- ① 国保直営診療所による開設
- ② 外来診療や訪問診療を中心に、入院病床については休床
- ③ 老健施設の運営は他法人での運営
- ④ リハビリ等在宅系サービスについては他法人での運営

以上4点について南丹市からの提案を受け、各委員から活発な意見をいただいたところであり、その内容は次のとおりである。

## (1) 診療所の運営方式

### 国保直営診療所による開設

#### 【委員からの意見】

- ① 地域包括ケアシステムの中で、健康づくり、介護予防、疾病の早期発見、早期治療を行うため、国保の診療所として、関係機関と連携していき、住み慣れた地域で安心して暮らせるための診療所にすべきである。
- ② 国保直営診療所とするなら、家庭であったり、地域であったり、また、自治能力が高い美山町の地域特性を生かし、健康を守る方策をしっかりと盛り込むべきである。

## (2) 医療の診療体制について

### 外来診療や訪問診療を中心に、入院病床は休床も踏まえて検討

#### 【委員からの意見】

- ① 美山地域は遠隔地に位置することから、救急の面からも、地域に一次的に医療が受けられる診療所は必要である。診療所がなくては傷病率が悪化する。
- ② 小児科診療は、美山林健センター診療所で隔週で午前中のみ開設されている。それ以外は、小浜か園部まで行っている。子を持つ親世代は小児を診ていただける診療所が必要である。しいては、若い世帯のIターンUターンが増加する。
- ③ 京都中部総合医療センターは、地域医療支援病院として、医師派遣は続けていきたい。また、外来診療を中心とした診療となるようなら、今後ますます病診連携、地域連携・地域支援という形で支援させていただく。
- ④ 美山林健センター診療所の診療についても、直営となる新診療所に機能を統合しつつも、診療日を残してほしい。知井地域にも、診療所が無くなり、地域の人にも不安が大きい。知井地域も診療所ができれば嬉しい。

### (3) 介護老人保健施設の体制について

介護老人保健施設については、可能な法人があればできるだけ現状に即した内容を依頼するとともに、その実現に向けて働きかけていく

#### 【委員からの意見】

- ①老健病床15床で利益を出すのは非常に厳しいのではないかと思います。
- ②老健及びリハビリの果たしてきた役割は大きいのではないかと。

### (4) 在宅系サービスの体制について

在宅系サービス（訪問看護、訪問リハビリ、短期入所、通所リハビリ等）についても同様に、民間法人等で運営可能な法人があれば働きかけていく

#### 【委員からの意見】

- ①美山地域は高齢化率が高いこともあり介護の相談を多く受けるが、その中でもリハビリを受けたいという相談が多い。
- ②現在、理学療法士や作業療法士による訪問リハビリなどがしっかり行われている。高齢化率が高い美山地域においては欠かせないサービスである。

**(5) その他の意見（全体的な意見として）**

- ①現状の美山診療所の機能を残して市直営で運営してほしい。
- ②高齢者への視点を忘れることなく、健康なまちづくりを目指してほしい。
- ③赤字が膨らむようでは、安定した医療の継続はできない。皆で戦略を考えていきたい。
- ④診療所の医師に学校医となってもらいたい。
- ⑤美山の医療の灯を消さないでほしい。
- ⑥将来に夢が持てるような医療体制を皆でつくっていく必要がある。

**4. 議論が必要な事項**

○医師赴任の体制づくりについて

**5. まとめ**